



東広会ニュース

9月号

2004年(平成16年)

Vol.3

発行所 東京都渋谷区恵比寿南
1-5-5JR恵比寿ビル10F

東日本鉄道東京広告会

電話 03(5447)7855

E-MAIL info@tokokai.jp

交通広告へ“熱き思いを”

第1回新人研修会を開催

東広会総務委員会主催による新入社員研修が8月5日(木)J企の会議室で初めて開催された。講師は、栗本周二J企交通媒体局長を始めとする担当セクションの幹部達で、研修はこれからの交通広告を背負う若い社員に熱烈な心構えをあたえた。

新入社員の研修会は、東広会加盟の広告会社へ入社した2年～3年未満の社員を対象に募集したところ、満員締切後も多数の受講申込みがあったため1社3名に制限し、最終的に受講者は、29社、68名となった。

講師は、栗本J企交通媒体局長が交通広告概論、続いて各論に入り、各メディアごとの責任者である同局の部長等がそれぞれの商品特性、作業フロー、トピックス、審査をプロジェクトを活用し熱心に説明。

受講者が印象に残ったことを列記すると①ADトレイン、SPメディア



講演する栗本局長

の特性②交通広告の特性、メディアミックスの広告効果③各広告申込方法の理解、広告料金の算出根拠④注目率・到達率・サ

ーキュレーションデータ・各種の用語の理解、データブックの活用方法⑤車体広告のいろいろなデザイン提案の可能性などをあげられている。

そして、特に聞きたかったことについては、①広告意匠審査基準、NGの事例②臨時広告の企画、立案、実施までの一例③失敗事例、苦労話などがあった。

感想文から

○現場の生の声を聞いて媒体メリット、セールストークを学べることが出来ました。これから交通広告を利用していただくかを念頭において、クライアントの立場に立った提案していきたいと思っています。(30才 男)

○マス4媒体との具体的な差別化、また具体的な数字により、最近のOHメディアへの注目を再認識できた。(28才 男)

○車両メディア、SPメディアなど

交通広告のいろいろな展開、可能性を感じました。(25才 男)

○現在サインボード・ポスター等の営業をしています。アイデア次第で様々な広告展開ができることで、先入観に捉われず企画立案できるように挑戦していきます。(36才 男)

○創造力をふくらませる必要があると実感しました。このように勉強する機会が与えられたことによって、これから自分自身で学ぶ姿勢ができ感謝しております。また講師の方々の交通広告に対する熱い思いを感じました。(25才 女)

10月27日に開く 広告意匠の研修会

新入社員研修会や各広告会社から、交通広告の意匠の研修会を開催して欲しい旨の希望が多く寄せられた。そこで左記により開催いたします。

日時 平成16年10月27日(水)

9時30分～12時

場所 J企14F会議室

対象 入社2年未満に限る

募集人員 60名

申し込み

東広会 事務局

9月末に事務局から会員にFAXで連絡します。

立体広告を展開

東京駅(丸の内北口)で

JR東京駅の丸の内北口ドーム空間(天井高約20m)を利用した立体的な展示広告が開発された。

9月6日(月)7日(火)にビル・エム・ダブリュー(株)の「MINI CONVERTIBLE」キャンペーンが行われた。

内容はパラシユートをつけた様々なマネキンが巡回しながらドーム中央に設置されたMINI CONVERTIBLEにジャンプして乗り込むような演出で展示された。



立体的なクリエイティビティを演出したBMWの展示場
—東京駅・丸の内北口—



7月に恵比寿駅で展開されたダイムラー・クライスラー日本(株)のクライスラー・PTクルーザーカブリオの展示プロモーション

STATION JACK CAR GALLERY

— 首都圏7駅で —

一日に1600万人もの人々が利用すると言われている、JR東日本の「駅」。中でも、特に利用の多い山手線内のターミナル駅を中心に展開される自動車展示用のスペース「STATION JACK CAR GALLERY」。

展示駅は新

宿・渋谷・恵比寿・品川・東京・上野・横浜計7駅7箇所。夜間警備費用や渋谷駅・品川駅への車輛搬入費を含め7日間の展示期間で約3300万円(税別)となっており、自動車の展示を容易にするセットとして設定されているのが特徴。

自動車以外にもAV機器等タッチ&トライ可能なイベントスペースとしての利用も可能。

このイベント告知メディアがセットになったオプションプランも用意されている。

※詳細はJ企営業推進部へお問い合わせください。

CAR GARLLERY 展開駅

①新宿駅 新南改札前通路

②渋谷駅 ランキンランキン前

③恵比寿駅 西口イベントスペース

⑦横浜駅 イベントスペース

新宿

渋谷

恵比寿

横浜

上野

東京

品川

⑥上野駅 ガレリア

⑤東京駅 BREAK

④品川駅 中央改札内通路

山手線ネットワーク第三弾

アサヒ飲料(株)「WONDA」を広告展開

9月1日(水)からアサヒ飲料(株)「WONDA」の宣伝展開が山手線ネットワーク企画にて集中的に開始されている。

内容は、NEW DAYS 店内キャンペーン(326店舗)、NEW DAYS キャンペーンボード(35箇所)、キャンペーンボードはB2横86枚、B1横78枚がシート貼で掲出される。さらに、KIOSK等店舗49箇所へのサインボード掲出、KIOSKトップボードも11箇所で開催されている。

駅メディアではミニロングセット(9月3日(金)から9月16日(木)、山手線内21駅)を展開し、車両メディアでは、



新宿駅KIOSKトップボード



信濃町NEW DAYSキャンペーンボード&サインボード



車体広告

山手線車体広告(9月5日(日)から10月9日(土)、2編成)、新B額面(9月5日(日)から9月12日(日))、トレインチャンネル(9月1日(水)から9月30日(木)、オリジナル番組枠)を利用して展開される。

これら山手線ネットワーク統合キャンペーンは、これまでキリンビバレッジ(株)、伊藤園で展開されており、今回が第三弾の展開であるが、今回は新たに東京メトロの媒体についても車体広告・車内ポスター・壁面シート・アドビラー・店内キャンペーン等連動して展開している。

「マグライト」102連貼りBOポスターを展示



東京駅京葉丸の内通路で

ロード)で、JR東日本ポスターグランプリでグランプリを受賞した「マグライト」が8月20日(金)

から9月16日(木)までBOポスター102連貼を展開した。
京葉丸の内通路(アートロード)180メートルの煉瓦壁面は、ポスターのサイズやメディアとしてもいろいろ挑戦できるスペースであり、今回の企画を皮切りに第二弾、第三弾と広告が出稿されることを大いに期待したい。

10月の企画商品

○E電中づり 5 days

実施広告料金

シングル 500万円(税別)

(通常料金746万円)

ワイド 1000万円(税別)

(通常料金1517.2万円)

掲出日程

10月8日(金)～12日(火)

10月16日(土)～18日(月)

10月27日(水)～31日(日)

9月6日(月)より随時申込開始

○中電フリースポット企画

設定掲出期間

10月1日(金)～10月31日(日)

9月6日(月)より随時申込開始

東海道線

実施広告料金 60万円(税別)・

静岡分を除く

通常料金 117.2万円(税別)

〈4本保証〉

宇都宮・高崎線

実施広告料金 70万円(税別)

通常料金 138.4万円

〈4本保証〉

常磐線

実施広告料金 35万円(税別)

通常料金 60万円(税別)

〈4本保証〉

○E電中づり 5 days + 中電中づり 4 days

9月6日(水)より随時申込開始

実施広告料金

シングル 550万円(税別)

通常料金 828.6万円(税別)

ワイド 1100万円(税別)

通常料金 1683.7万円(税別)

掲出日程

10月8日(金)～12日(火)

10月16日(土)～20日(水)

10月27日(水)～31日(日)

便利になる『湘南新宿ライン』

JR東日本10月16日ダイヤ改正

JR東日本は、10月16日(土)ダイヤ改正を行なう。今回の大きな柱は、湘南新宿ラインの増発や同線区及び宇都宮・高崎線の普通列車でグリーン車の新規導入・スピードアップなどで、首都圏の直通サービスや着席サービスの大幅な改善をめざしている。

今年6月の池袋駅構内の立体交差工事などの完成により、池袋・新宿間の増発が可能になったことから湘南ラインで運転開始以来最大規模の増発が実施される。現在1日38往復から64往復(平日)となる。系統別では高崎線・東海道が1日に12往復であったものが改正で32往復、宇都宮線・横須賀線が1日17往復であった

たものが32往復となる。

埼京線、朝通勤の混雑緩和の要望は強くなっていったが、池袋・新宿間の朝の上りは、湘南ライン(南行)が6本(1時間)増発によって、混雑率は、168%となる。

デイトタイムも新宿折り返しの設定を取り止め、全て直通運転となり大幅な輸送力増強が図られる。



ADトレインの車内



ADトレインの車体広告

2004年JR東日本ポスターグランプリの発表会場となったADトレイン(8月17日(火)から9月1日(水)まで運転)

— 利用者から多くの注目を集めた —

また、同線には新型車両E231系が、増投入され統一化される。

新型車両投入による車両性能向上と設備改良によりスピードアップが図られ、東海道線と高崎線を直通する「特別快速」列車が登場する。

湘南新宿ライン等にグリーン車登場

湘南新宿ラインの宇都宮線・高崎線にグリーン車が導入されるとともに、「グリーン定期券」の値下げ、通勤・通学定期券とグリーン券で普通列車グリーンに乗りが可能となったほか「グリーン車Succa」導入、さらに「グリーンアテンダント」が乗務するなど新しいサービスが開始される。

埼京線・りんかい線の相互直通運転拡大

埼京線は朝及び夕夜間で一部の列車が大崎駅折返しを行っていたが、初電から21時台までの全列車をりんかい線直通とし、朝通勤時間帯における混雑の平率化が図られる。

特急列車によるサービス改善

特急「さざなみ」「わかしお」に新型車両の投入、特急「成田エクスプレス」を新宿方面に増発が図られる。

ダイヤ改正に伴う作業規制

ダイヤ改正に伴う調整期間がされ

たので周知徹底方を。

10月15日(金)22時0分～10月16日(土)22時0分の2日間

ダイヤ改正に伴う納品枚数の変更

今回のダイヤ改正で新型のE231系が東海道線に投入されることから、中づり、まど上など納入枚数が大幅に変わる。広告料金は、現行どおり。枚数変更は10月1日(金)から実施。

東海道線

中電中づり (3日・4週間)

納品枚数1、100枚

(旧枚数760枚)

中電まど上 (B3)

納品枚数570枚

(旧枚数230枚)

このほかE電+中電中づりセット、戸袋ステッカー、ドア横新Bなど変更があるので、くわしくは、J企交通媒体局車両メディア部スペース調整部へ

訂正

本紙8月15日号に掲載した東日本鉄道広告会役員・委員会名簿のち駅ボスタ!SP委員会の副委員長長の記載漏れがありましたので、お詫びして再掲します。

委員長 小野寺忠之 (株)春光社

副委員長 澤 修造 (株)ニユーアド社

副委員長 伊澤 宏司 (株)TOMOE

副委員長 伊集院快比古 (株)博報堂DYM&ア

副委員長 長渡 泰三 (株)日交